

館報 教育記念館

No. 102

令和6年3月 発行



第34回富山県中学校美術展

主な内容

- ◎教育時評「外国人材を採用して」
タカタ精密工業株式会社 代表取締役 高田 俊一 …………… 2
- ◎後期恒例展等から …………… 4
「児童・生徒によるものづくり展」「富山県造形教育作品展」「富山県中学校美術展」
「アイデアロボット展」「高校生ロボコンフェスタ」「ロボットづくり教室」
「子どもの目、自然不思議発見写真展」「退職厚生部富山支部作品展」
- ◎わが校の歴史から …………… 7
富・樫尾小学校 高・五位小学校 高・千鳥丘小学校 高・横田小学校
高・川原小学校 高・西条小学校 南・利賀小学校 南・利賀中学校
- ◎「校歴等、学校情報調査」紹介 …………… 9
- ◎「学ぼう！ふるさと未来」支援事業実践活動報告会 …………… 10
令和6年度の展示計画 あとがき



発行所／公益財団法人 富山県ひとづくり財団 富山県教育記念館 〒930-0018 富山市千歳町 1-5-1
TEL (076) 444-2000 FAX (076) 444-2001 E-mail: toyama@t-hito.or.jp https://www.t-hito.or.jp
(教育記念館会議室ご利用の場合 ☎(076) 433-2770)
発行人／富山県教育記念館 館長 富田 利通 印刷所／いおざき印刷株式会社



外国人材を採用して

タカタ精密工業株式会社

代表取締役 高田 俊一

振り返ると、私は担任の先生やクラブ活動の先生に恵まれていたと思います。恩師と仰ぐ先生方は情熱的で個性的。特に高校時代の水球部の先生は、熱意のある人格者でありました。普段の練習は大変ハードで、朝練から5キロ泳ぎ、夕練では泣きたくなるようなトレーニングが続きました。連休は決まって県外合宿で強豪校や大学へ行き、ボコボコにやっつけられました。それでも3年間辞めようと思わなかったのは、先生が自分達の未知の可能性を引き出そうと、いつも本気でぶつかってくださっていたからだと思います。創部したての弱小チームをなんとか強くしようと必死に考え、熱の入った指導と行動力で生徒を引っ張って下さいました。私が経営者となった今でも「恩師」と「私」を比較することがあります。人とちゃんと向き合えているのか。馴れ合いのチームを作っていないか。客観的な分析ができているか。

私は体育の先生になりたいと思い、順天堂大学に進学しましたが、最終的には父の会社を継ぐことを選択しました。今回、教育時評の執筆のお話をいただいた時、出来の悪かった学生時代を思い出し少々たじろぎましたが、町工場の人材について参考程度にお伝えできればと思います。

私が父から会社を引き継ぎ社長となった10年前、最大の経営課題は人材の確保でした。弊社は15人程度の町工場。高精度な部品加工を得意としており、製品の仕上がりには自信がありますが、会社の知名度は低く、就職を希望する人がなかなか現われませんでした。新卒採用のため就職採用サイトを利用し、活動するも採用には至りませんでした。残された道は外国人材の採用です。「日本人の採用は厳しさを増す。外国人との協働は今後避けることはできない」と思った私は、藁にもすがる心境でベトナムへ行き、2016年に2人の若い人材を採用しました。

ベトナム人社員が入社し感心したことは、一生懸命に指導者の話を理解しようとする姿勢でした。知っている単語を駆使して伝える努力をし、早く仕事を覚えようと真剣に話を聞く姿は、教える人を本気にさせました。



ベトナムでの面接試験

また、挨拶は、相手に胸を向けて、大きな声で頭を下げて「おはようございます」と言います。ベトナムの送り出し機関からこの「お手本のような挨拶」を学んできているので、彼らにとっては当たり前のようでした。礼儀正しい挨拶のインパクトは絶大で、会社を訪問されたお客様からは「タカタ精密は元気が良い」とお褒めの言葉をいただき、会社の近所の住民からは「タカタ精密はきちんと外国人の教育ができています」と評価をいただきました。気持ちの良い挨拶こそ自分を売り込むための最高のツールであるかもしれません。

外国人材を受け入れてから8年が経ち、今では7人の外国人材が弊社で働いています。もちろん外国人材を受け入れることで対応に苦慮した問題も多々起こりましたが、その都度ルールの整備や通訳を介して教育を根気よく続けていきました。

製造業においては競争がグローバル化し、価格・品質ともに客先からの要求は厳しさを増しています。また、賃上げ、残業規制、燃料代の高騰など経営環境が激変する中において、人材は人種・国籍ではなく個人の能力が試される時代に突入していると実感しています。

日本で働く外国人労働者は200万人を突破し、今後も増加していくことが予想されます。私は将来的に外国人材に役職を付け、リーダーを育てたいと思っています。人種・国籍を問わず技能を承継していく仕組みを作ることが喫緊の経営課題になっています。日本人であることの優位性とは……、最近深く考えることがあります。



会社敷地内でバーベキュー大会

私には小、中、高校生の3人の子供がおります。飯の食える大人に育てねばと思う一方、人生はこんなに楽しいということも教えていきたいと思っています。私は恩師や会長である父から背中であくさんのことを教えていただきました。社会の荒波の中、七転八倒している私の姿を見て社員や子供がどう思うのかは分かりませんが、印象に残らぬ大人にならないよう元気を出してこれからも頑張っていこうと思います。



後期恒例展①

第14回 児童・生徒によるものづくり展 10月18日(水)～11月12日(日)

県内には高岡市のものづくり・デザイン科の取組をはじめ、伝統的、独創的、技巧的な作品の制作に取り組んでいる学校が多く見られます。今年は、小・中・義務教育学校・特別支援学校・高等学校41校、214名の児童・生徒が制作した177点の作品を展示しました。



- 次の世代を継ぐ人が出そうで楽しみです。伝統の物って力があることを、改めて見られてうれしかったです。
- どの作品を見ても創意工夫があって、素晴らしい。来年も続けてください。



第54回 富山県造形教育作品展 11月18日(土)～12月3日(日)

幼稚園、認定こども園、小・中学校、高等学校から280点の作品が展示されました。家族連れをはじめとして多数の来館者が作品鑑賞を楽しみました。



- 子供たちの自由な発想をのびのびと発揮できる教育をこれからも続けてほしいです。
- 本人による作品解説を聞きながら、楽しく鑑賞することができました。
- 最初は孫の作品だけ見て帰るつもりでしたが、それぞれの作品を見ることができて、感動しました。想像以上に楽しめました。



第34回 富山県中学校美術展 1月19日(金)～2月4日(日)

県内の国公立77校の中学生が、日頃の学習や部活動で制作した絵画や造形作品195点を展示しました。中学生の若き感性が豊かに表現された作品は、多くの来場者を楽しませました。



- たくさんの人の素敵な作品を見ることができて、すごくよかったです。これからも自分の作品と向き合って絵をかき続けたいと改めて思うことができました。
- 大人になってから忘れてしまっていた事を、少し思い出させてもらいました。ありがとうございました。

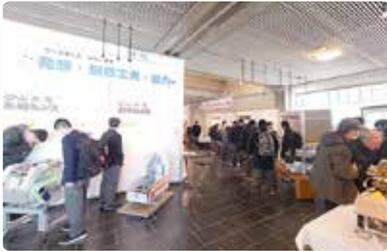


後期恒例展②

ロボットづくりを通して、ものづくりの魅力を育む

第19回 アイデアロボット展 12月9日(土)～1月7日(日) 12:00まで

生徒や学生の技術、ロボット製作にかける情熱を知ってもらおうと、今年も中学校・高等学校、高等専門学校の12校から15点のロボットを展示しました。



- 機械の配置や回線等がすっきりしている所がとても参考になりました。勉強になりました。
- 体験コーナーのサッカーロボットやクレーン型のロボットを動かすのが楽しかったです。

関連企画 令和5年度(高校生)ロボコンフェスタ 12月10日(日) 12:00～15:00

アイデアロボットをはじめ工業高校生の研究・製作した作品を見学・操作体験できる「ロボコンフェスタ」が今年も県民会館で行われました。多くの方が訪れ、高校生たちの説明に耳を傾けました。



関連企画 令和5年度(小学生)ロボットづくり教室 1月7日(日) 9:00～12:30

小学校4～6年生22名が、中学校の技術・家庭科の先生方の指導のもとでサッカーロボットを製作。コントローラーを操作し、白熱した対戦を楽しみました。



- 先生が優しく分かりやすく教えてくださいました。試合は2回戦目で負けてしまったけれど、とても楽しかったです。
- 初めて体験することがあって、とてもよかった。他の参加者の人とも交流できた。

後期恒例展③

恒例展 第20回「子どもの目、自然不思議発見写真展」

2月9日(金)～3月10日(日)

今年は耐震改修工事のため、半年遅れて開催しました。子供たちの目を通して発見し、撮影した自然界の「不思議」「きれい」「おもしろい」を紹介した写真42点を展示しました。



●思わずうなってしまう作品もあり、子供たちの感性ってすごいな。タイトルや説明文もおもしろい！



ワタシハ うちゅうじんダ (2年)



箒で掃いたみたい (3年)



宇宙から見た地球? (5年)



空に海の宝石発見 (1年)



ト音記号みかん (4年)



台所にバラがさいた! (6年)

第37回「富山県教職員厚生会退職厚生部富山支部会員作品展」

10月1日(日)～10月7日(土)



●年々パワーアップしている！お元気で活躍の様子がうかがえて嬉しくなりました。



わが校の歴史から

長い歴史に幕・統合 新たに「富山市立八尾小学校」へ

富山市立櫛尾小学校



「すくすく生い立つ若木のように」

本校は、明治11年7月に永進小学校として開校しました。それまでは、現在の八尾小や杉原小まで通っており、地域にとって待望の小学校でした。以来、145年にわたり、2000名を超える卒業生を輩出してきました。

今年度は、2～6年生21名の児童が在籍しています。伝統ある活動として、学校横の道路を使つての坂道マラソンがあります。息を切らしながら走り、体力向上を目指しました。また、少人数の特色を生かし、全校で総合・生活科の学習を行い、学校の歴史を調べました。休み時間には、全校児童がなかよく遊ぶ姿が見られます。校歌に歌われる「若木」のように、すくすく成長している子供たちです。

他にも、地域の皆様にご指導をいただきながら行った田植え・稲刈り体験、保護者の皆様にご協力いただいた運動会など、「地域に開かれた学校」として教育活動を推進してきました。

令和6年度より、八尾小学校と統合します。櫛尾小で学んだことを忘れず、協力し互いを高め合っていてほしいと願っています。

長い歴史に幕・統合 新たに「高岡市立五位小学校」へ

高岡市立五位小学校



新たな出発

令和2年4月、東五位小学校と石堤小学校が先行統合し、五位小学校が開校しました。以来4年間、東五位地区の子供たちは多くの見守り隊の方に付き添われながら集団登校で、石堤地区の子供たちはバス通学で、毎日元気に登校しています。

特色ある活動としては、東五位小学校の伝統であった俳句作りの活動や国道8号線の地下道完成以来続けている地下道清掃ボランティアが挙げられます。1年生から6年生まで季語を使いながら発想豊かに俳句を詠んだり、せっせと地下道を掃いたりする姿を見ると、心が育ってきたなあと思います。

本校は令和6年3月に一旦閉校した後、令和6年4月に千鳥丘小学校と統合し、児童数400余名の“新”五位小学校として出発します。子供たちには、これまで以上に培ってきた「かしこさ」「やさしさ」「たくましさ」を発揮してほしいと願っています。

高岡市立千鳥丘小学校



地域と共に歩む

本校は、立野小学校と小勢小学校が統合し、昭和40年4月、千鳥丘小学校として開校しました。立野と小勢の接点にある立野地区の小字「千鳥免」という高台に校舎が建設されたことから、「千鳥丘」と名付けられました。

校区には、旧街道筋に発達した住宅街の立野地区と自然豊かな散居村の風を呈した農村地帯の小勢地区と二つの地域があります。「千鳥ウォーク」や「千鳥の森学習」等、地域の教育資源を生かした「ふるさと教育」を大切に、地域と学校が連携、協力して「地域と共に歩む」教育活動を推進してきました。

令和6年4月、先に東五位小学校と石堤小学校が統合して開校した五位小学校と再統合し、“新”五位小学校として新たな一歩を踏み出します。今後も「地域と共に歩む」教育活動を継承し、新たな歴史と文化を築いていくことを願っています。

わが校の歴史から

長い歴史に幕・統合 新たに「高岡市立高岡西部小学校」へ

高岡市立横田小学校



「研精魂」が息づく学校

本校は、明治7年「高岡西之学校」として開校し、昭和22年に現在の横田小学校と改称されるまでに校名変更や校舎の移転等、幾多の変遷を経て現在に至ります。明治31年に小松宮彰仁親王が揮毫された扁額「研精小学」が寄贈され、それに起因して研精獅子の校章が創られました。以来、「研精」（学問の真理を究め明らかにすること）の心は脈々と継承され、学校、家庭、地域に息づいています。「誠実なれ、親切なれ、勇気を起こせ」という校訓は本校の象徴であり、この「研精魂」を抛り所に子供たちは学習に励み、人としての大切な心を学んできました。

本校では一人一人が自分で考えて働きかける「あったか活動」を大切にし、落ち葉掃きやあいさつ運動等、人のために取り組んでいます。地域の「御印祭」では「弥栄節」を踊り地域の伝統文化にも親しんでいます。149年の歴史を胸に、これからも人のために尽力し、地域に愛着と誇りをもって新たな歴史と伝統を刻んでほしいと願っています。

高岡市立西条小学校



ふるさとへの愛着と誇りをもって

本校は、明治7年、横田村浄源寺を仮校舎に開校されてから149年、幾多の変遷を経て、令和6年3月をもって閉校します。

本校の校区には、高岡鑄物発祥の地であり、重要伝統的建造物群保存地区の選定も受けた金屋町があります。また、校歌の一節には「農工商の花さいて」と謳われており、高岡開町以来400年を超える歴史や伝統、文化、産業、そして、それを支える人々など、魅力にあふれています。

本校では、このような校区の特色ある資源を生かし、ふるさとを学びのフィールドとして、体験的な学習に取り組んできました。

4月からは、横田小学校、川原小学校と統合し、高岡西部小学校が開校します。自分たちが住む地域への愛着と誇りは、他の地域を尊重する心にもつながります。子供たちには、ふるさとへの愛着と誇りをもって、新たな学校づくり、新たな地域づくりの担い手として活躍してほしいと願っています。

高岡市立川原小学校



川原の誇りを 遙か とこしえに

明治34年4月、川原地子尋常小学校が誕生しました。川原町は、その昔、文字どおり千保川の河原であり、古くから魚河岸の町として栄え、魚屋や塩乾物を扱う店が並び活気に満ちていました。校舎2階の窓からは、千保川を行き交う船もよく見えたそうです。昭和9年の校舎改築で県下最初の鉄筋コンクリート3階建ての小学校となり、講堂は市民のためのいろいろな集会に利用されました。学校は今もなお、住民のシンボリックな存在として愛されています。また、地域やPTAの子供たちへの想いは熱く、これまでPTA活動や土曜学習推進等において数々の表彰を受けてきました。子供たちの明るくのびのびとした姿や、人のために何かしたいと考え、行動する温かい心はまさしく地域で磨かれたものであり、我が校の誇りでもあります。子供たちは川原の人々に愛されながら「高岡西部小学校」で新たな歩みを始めます。これからも人を大切にし、川原の誇りを遙か とこしえに受け継いでほしいと思っています。

わが校の歴史から

長い歴史に幕・統合 新たに「南砺市立利賀学舎」へ

南砺市立利賀小学校



利賀地域の皆さんの願いとともに

平成8年に利賀小学校と坂上小学校が統合し、新しく「利賀小学校」が開校しました。そして平成10年には、現在の校舎である、複合教育施設「アーパス」が完成しました。この施設には、利賀小学校、利賀中学校、そして、地域の生涯学習施設が一つの建物内に併設されています。「小さな子どもから大人まで、利賀地域すべての人が学び合う学校に」という、利賀地域の方々の壮大な願いが込められた他に例をみない校舎です。

また、地域内には「ロンレー子ども村」という野外活動の場があり、小学生は年に数回、自然の中に作られた遊具で思い切り遊ぶことができます。これも利賀の自然に親しみ、たくましく育てほしいという地域の願いが込められた大切な施設です。

このように、利賀地域の皆さんからの熱い思いをいっぱい受けながら、利賀っ子は豊かな自然の中ですくすくと育っています。

南砺市立利賀中学校



歴史をつないで

本校は昭和22年4月に、利賀村立利賀中学校として開校しました。初めは、利賀小学校校舎の一部を利用していましたが、昭和23年に校舎が建設されました。そのころには分校が5つありました。

昭和37年には、分校を廃止し、統合校舎が建設されました。当時の生徒会誌には、校舎新設の喜び、寮生活の楽しみや困ったこと等が記されており、今の中学生と変わらぬ生き生きとした様子が読み取れます。

平成10年には、現在の校舎、複合教育施設「アーパス」（小・中学校、公民館が一体となった施設の呼び名）が完成しました。

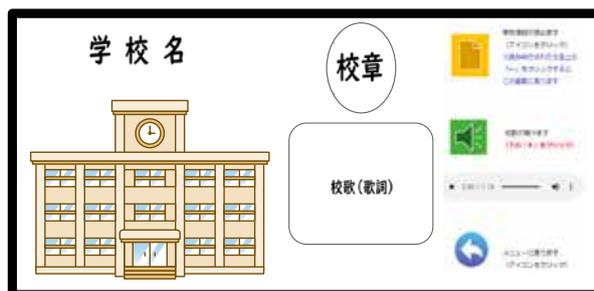
校章は、雪の結晶をかたどったもので、間の線は山ひだ、先端の小さな円には健康、明朗、敬愛、責任、実践、努力の6つの願いが込められています。白色は「正義と真理の追究」をあらわし、全体としては「未来を切り拓く若人」をシンボル化したものです。

長い歴史と文化を「南砺市立利賀学舎」へとつないでいきます。

お知らせ 「学校情報閲覧コーナー(仮称)」、この4月に開設!

今年度(令和5年度)、近代教育制度開始150周年を迎えました。この節目に「校歴等、学校情報調査」を実施したところ、県内すべての学校からご協力をいただき、来年度(令和6年度)4月より、子供たちをはじめ、広く県民の皆さんに、調査したものを「県内の学校の今」として紹介することになりました。

紹介する内容は、学校名、校舎、校章、校歌、教育目標や校歴等の学校情報です。著作権を考慮し、当館内のコンピュータの画面上のみでの検索・視聴とします。なお、学校情報は冊子でも読むことができます。



学校情報のアイコン
学校情報が読めます

校歌のアイコン
校歌が聴けます

情報は令和5年7月
現在のものです

「学ぼう！ふるさと未来」支援事業 実践活動報告会

令和6年2月13日(火)

※ 詳しい活動の様子は、財団ホームページに各校の実践報告書として掲載されています。

滑川市立寺家小学校

学年ごとに地域に関わる探究課題を設定し、解決を通して、人々の努力や思いを理解し、感じたこと、考えたことを発信した。



駄菓子屋での接客体験



台湾の小学生に滑川市の特色を紹介する

富山市立朝日小学校

多様な体験活動を教育課程に位置付け、全校児童で体験する形から低・中・高学年の少人数での主体的な学びの推進を図った。



刈り取った稲の結び方を学ぶ



安田城趾の史跡価値について考える

富山市立奥田小学校

創校150周年。100周年に児童が作った「新奥田音頭」を今の奥田のよさを取り入れた「令和奥田音頭」に作り替える活動に取り組んだ。



女性の会の方との踊りづくり



なかよし活動の様子

射水市立金山小学校

今まで当たり前に行ってきた活動を、教師と子供たちが一緒になって「地域とのつながり」という視点で見直し取り組んだ。



畑の先生と一緒に苗植え



「150周年プロジェクト」企画会議

南砺市立福光中部小学校

自立した学びを目指し、活動の繰り返しや地域の方の知識や技能だけでなく生き方や思いまでも学習教材として進めた。



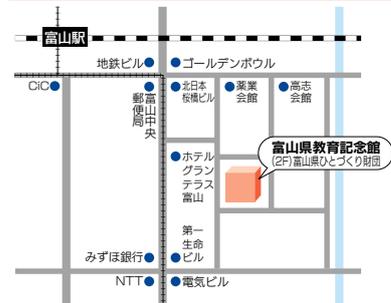
道の駅の見学



郷土の先人からの学びを発表する

あとがき

学校の統廃合が進み、新たな動きも生まれる中、富山県教育のあゆみを補完したいと実施した「校歴等、学校情報調査」へのご協力、そしてご多用の中原稿をお寄せいただいた皆様に感謝申し上げます。



令和6年度の展示計画

- | | |
|--------------------------------|---------------------|
| ◆企画展「戦火を逃れて富山へ来た子どもたち」 | 4月18日(木)～6月30日(日) |
| ◆第22回「さんすうワールド展」 | 7月10日(水)～8月22日(木) |
| ◆第21回「子どもの目、自然不思議発見写真展」 | 8月28日(水)～9月30日(月) |
| ◆第38回「富山県教職員厚生会退職厚生部富山支部会員作品展」 | 10月6日(日)～10月12日(土) |
| ◆第15回「児童・生徒によるものづくり展」 | 10月18日(金)～11月10日(日) |
| ◆第55回「富山県造形教育作品展」 | 11月16日(土)～12月1日(日) |
| ◆第20回「アイデアロボット展」 | 12月7日(土)～1月5日(日) |
| ◆第35回「富山県中学校美術展」 | 1月17日(金)～2月2日(日) |
| ◆第17回「富山県版造形教育作品展・秀作回顧展」 | 2月14日(金)～3月23日(日) |

富山駅
近く



会議室を一般の方に安価でお貸しして、打合せや趣味の活動などにご利用いただいております。詳しくは教育記念館ホームページをご覧ください。

<https://www.t-hito.or.jp/reserve/index.html>

会議室をご利用ください!

公式 X (旧Twitter)

https://twitter.com/t_hitozukuri

財団の取組みや富山県教育記念館の展示情報を掲載しています。ぜひ、フォローをお願いします。



教育記念館HP

<https://www.t-hito.or.jp/>

随時更新しています。

